

# 令和6（2024）年度 事業活動 報告書

（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

## 事業活動結果



「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、全国の盲導犬訓練施設法人施設の連合体として、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与ならびにフォローアップへの助成・補助等を実施した。

### 1. 普及啓発事業

- 1) 広報誌デュエット34号15万部、ポスター6千枚を作成、ならびに店舗等の入口に貼っていただく補助犬同伴可ステッカーを無償配布した。
- 2) 視覚障害者向け盲導犬情報（点字版、墨字版、CD版）を2回（9月33号、3月34号）発行し、盲導犬ユーザー、盲導犬育成施設、点字図書館、都道府県視覚障害者担当部局などに配布した。
- 3) 啓発イベント（盲導犬ふれあい教室など）を、全国で合計30回実施した。
- 4) 盲導犬事業への寄附・募金箱設置協力者・企業へ、良い機会を捉えて感謝状を贈呈・郵送し、感謝の意を伝えた。
- 5) 連合会オリジナル盲導犬カレンダーを例年通り作成して、寄附者や関係各所へ配布し、盲導犬事業への理解と普及の促進に努めた。
- 6) 大手スーパーに設置している等身大盲導犬募金箱について6台を新規導入、83台の修理入替を行い、盲導犬事業への協力と依頼に努めた。
- 7) DUETサポーター向けの活動報告書DUETサポーター通信VOL.5を400部発行し、サポーター会員および支援企業へ配布した。
- 8) パトラッシュ基金では、日本アニメーションのイベントにて募金活動を行った。
- 9) キャッシュレス寄附のプラットフォームとしてソフトバンクの「つながる募金」を開設した。



### 2. 相談室事業

- 1) 盲導犬貸与希望、入店拒否、使用者相談、事業者・市民からの相談など142件の受付対応を行い、加盟施設と協力してすみやかに具体的な解決を図った。
- 2) 盲導犬の不適正使用の目撃クレーム通報について、加盟施設と連携して調査を迅速に行い、対応結果を求める通報者には丁寧に説明回答するなど盲導犬事業に対する理解を求めた。



### 3. 資格認定事業

- 盲導犬訓練士4名、盲導犬歩行指導員1名の計5名を、資格認定審査要綱に則り、以下のとおり知識・技能を確認し、資格を認定した。
- ・学科修得確認テストを8月と12月に実施
  - ・実技審査会ならびに実技審査評定を事前収録映像を用いてオンラインにて実施。歩行指導員1名は役員面接を行い、2月開催の資格認定委員会にて5名の判定を行った。
  - ・資格認定委員会を4月、9月、2月の3回開催
  - ・3月開催の理事会に本年度の資格認定者を付議



### 4. 研修事業

- 1) 連合会加盟施設職員相互研修事業を、本年度は計5テーマ開催し、現地開催にて2テーマ「パピープログラム」「共同訓練研修」、オンライン・ハイブリッド併用にて3テーマ「人材（訓練士・歩行指導員）育成マネジメント」「ユーザー・犬の防災研修」「動物福祉に関する勉強会」を実施した。
- 2) 盲導犬歩行指導員資格認定受験者の審査要件であるスクーリングに関して、資格認定委員会での共同訓練発表を実施した。



### 5. 使用者団体との相互協力事業

- 全日本盲導犬使用者の会(全犬使会)の定期総会ならびに創立30周年記念イベントに、連合会職員、近隣施設職員を派遣し開催サポートを行った。

### 6. 情報交換及びネットワーク構築事業

- 1) 加盟施設の運営責任者全員による運営委員会を3回開催し、盲導犬の育成訓練と普及、事業に係る諸課題について協議した。
- 2) 令和5年度（2023）盲導犬訓練施設年次報告書「(社福)日本盲人社会福祉施設協議会編」の印刷と関係部署への発送を行った。  
※令和7年3月末日現在、国内の盲導犬実働数は768頭。国内の盲導犬育成訓練指定法人全11団体が令和6年度中に育成した盲導犬の頭数は117頭。内訳は、新しく盲導犬ユーザーのパートナーとなった盲導犬は23頭、2頭目以降の代替犬は94頭。
- 3) ANACargoの協力により実施している盲導犬割引輸送利用は、計17回行った。

### 7. 財政基盤支援事業

- 1) 加盟施設の貸与中盲導犬599頭について、犬の健康管理、使用状況確認、ユーザー相談等を行うフォローアップに必要な費用の一部助成を行った。
- 2) 盲導犬の無償貸与促進を図るため、加盟施設が実施する盲導犬無償貸与にかかる費用の一部助成・補助（1頭200万円）を、助成として9頭分、連合会「特定資産積立金」取り崩し補助として7頭分、合わせて16頭分（3200万円）施設をとおして希望する視覚障害者に行った。

### 8. 調査研究事業

- 加盟施設の協力の元、5年ぶりに「盲導犬受け入れ全国調査（2025）」を実施。盲導犬同伴に対する社会の理解、さらには事業者による合理的配慮の提供義務化を背景として、ユーザーが抱える社会的障壁・人々の障害に対する理解についても調査の上、プレスリリースを行った。また、調査報告書としてまとめ、1000部作成した。

### 9. 国際交流事業

- IGDFセミナーは隔年開催のため本年度は実施しなかった。

### 10. 顕彰事業

- 本年度該当者はなかった。

## 活動計算書

（単位：円）

1) 収益の部		金額
大科目	中科目	
受取会費	正会員受取会費	850,000
	計	850,000
受取寄附金	個人寄附金	18,195,184
	団体・法人寄附金	6,636,179
	特別寄附金	11,290,588
	募金	62,517,673
	計	98,639,624
その他収益	受取利息	129,259
	雑収益	5,000
	指定正味財産振替額	14,000,000
	計	14,134,259
経常収益計		113,623,883
2) 費用の部		金額
大科目	中科目	
事業費	人件費	27,890,002
	普及啓発事業費	15,232,636
	相談室事業費	519,741
	資格認定事業費	179,252
	研修事業費	1,086,261
	使用者団体相互協力事業費	215,066
	情報交換・ネットワーク事業費	954,466
	財政基盤支援事業費	52,160,000
	調査研究事業費	139,190
	国際交流事業費	0
	顕彰事業費	0
	計	98,376,614
管理費	人件費	3,056,815
	その他管理費	4,447,268
	計	7,504,083
経常費用計		105,880,697
当期経常増減額		7,743,186